

## 第 6 学 年 外 国 語 科 学 習 指 導 案

6 年 1 組 指 導 者 寺 内 健

### 単 元 英 語 で フ リ ー ト ーク ! ~Let's talk about my dream.~

#### 『We can2』Unit8 “What do you want to be?”

#### 1 本単元でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○将来についての思いを伝えるための語彙や表現を用いて、繰り返し話し合っている。	○英語をとおして、互いの思いが分かる喜びや仲間との違いに気付く楽しさを感じている。	○目的や場面、状況などに応じて仲間と自分の思いを伝え合っている。

#### 2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、毎時間の導入で「Small Talk」に取り組んでいる。教師が子どもたちの生活や学習内容に合わせて設定した題で、子どもたちは英語で会話を楽しみつつある。「Small Talk」で学習した語彙や表現を用いて、「朝の会で行っているフリートークを英語でできそうだ」と思いをもっている。本単元では、「What do you want to be?」「I want to be a ~.」の語彙や表現を用いて、自分の将来についての思いを伝え合う「英語でフリートーク！ Let's talk about my dream.」に取り組む。このことは、英語で会話をするからこそ、思いを伝え合える喜びや自分とは違う仲間の思いに気付く楽しさを感じることにつながるであろう。

学習を展開する中で子どもたちは、就きたい職業だけでなく、その理由も含めて、自分の将来についての思いを伝えるにはどうしたらよいかを考えていく。その際、既習の語彙や表現を用いて「自分の思いや尋ねたいことをどう伝えるか」を考え、試行錯誤する場を設けたい。そうすることで、既習の語彙や表現を総動員させる経験を積み、なんとか自分の思いを伝えようとしたり仲間の思いを分かろうとしたりする態度を育むことができると考えるからである。

そこで、以下の支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 毎時間導入時に行ってきた「Small Talk」で用いた語彙や表現をまとめた掲示物を見ながら、「Small Talk」や「フリートーク」を行うよう促す。そうすることで、場面に応じた語彙や表現を選択する手助けとなり、英語で会話を続けることができるようにする。【対】
- ALTの将来についての話に対して、どのような質問ができそうか考える場を設ける。そうすることで、仲間の発言に応じて質問を考えることができるようにする。【他】
- フリートークや会話の感想を交流する際、「みんなで楽しむフリートークに近付けるための気付き」についての記述を見取り、価値付ける。そうすることで、英語でのよりよいフリートークをめざす意欲を高めることができるようにする。【自】

#### 3 本単元の目標

- 目的や場面、状況などに応じて、既習の語彙や表現を用いて、将来についての自分の思いを仲間と伝え合うことができる。
- 思いを伝え合える喜びや自分とは違う仲間の思いに気付く楽しさを感じることができる。

#### 4 本単元における評価規準

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
○将来について会話をするための語彙や表現を理解し、思いを伝え合っている。	○目的や場面、状況などに応じて、将来についての思いを伝え合っている。	○他者に配慮しながら、英語を用いて主体的に伝え合おうとしている。

#### 5 指導計画（全6時間）

- 第 1 次 互いの将来について伝え合う（3時間）
- 第 2 次 フリートークで使える表現を考え、練習する（2時間）
- 第 3 次 自分の将来についてフリートークをする（1時間）【本時 1 / 1】

6 本時案 【平成30年11月 2日 9:50~10:35 6年 1組教室】

(1) ねらい 自分の将来についての思いを伝え合う活動をとおして、語彙や表現を用いて伝え合うことができるようにする。

(2) 学習過程 ※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
1 学習の見通しをもつ (10分) ・ALTとの会話 [Where do you want to go?/ I want to go to ~.] ・Small Talk ・表現の確認 [What do you want to be?/ I want to be a ~.]	<ul style="list-style-type: none"> <li>行きたい場所について話しているね。</li> <li>A君は I want to go to Kyoto.か。修学旅行で行った鉄道博物館に行きたいんだって。</li> <li>今日は自分の夢についてフリートークを英語でやってみるのだったね。楽しみだな。</li> <li>「What do you want to be?」は Small Talk の表現の中で「Where」「go」を変えるといいね。</li> <li>楽しいフリートークにするために「おたずね」をがんばるよ。</li> </ul>	○毎時間「Small Talk」で活用した、語彙や表現をまとめた掲示物を見ながら、本時の「Small Talk」や「フリートーク」を行うよう促す。そうすることで、語彙や表現を選択する手助けとなり、英語で会話を続けることができるようにする。【対】 ○手元に、自分の将来について考えたワークシートを持たせておく。そうすることで、将来についての思いをもってフリートークに参加できるようにする。【他】 ○「みんなで楽しむフリートークに近付けるための気付き」についての記述を見取り、価値付ける。そうすることで、課題意識をもって、次のフリートークに生かそうとする意欲を高めることができるようにする。【自】
どうしたら思いを伝えられるフリートークにできるのだろう		
2 おたずねの仕方や答え方を練習する (10分) ・4人での会話 3 フリートークをする (15分) ・[What do you want to be?] 4 フリートークを振り返る (10分) ・互いの思いが分かる喜び [もっとよくしたいことはありますか]	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは4人グループでやってみるのだね。</li> <li>質問に対してはこう答えるよ。</li> <li>「おたずね」をしてくれると嬉しいな。</li> <li>反応してもらえたら、やっぱり話しやすいね。</li> <li>エカテリーナ先生がお題を出してくれたね。</li> </ul> A I want to be a vet. I like animals very much.【対】 B A君、What animals do you like? A I like dogs. It is cute. C I see. I want to be a pilot. I like planes. D C君、Where do you want to go?【他】 C I want to go to America. E Me,too. C君、What food do you want to eat? C I want to eat hamburgers. <ul style="list-style-type: none"> <li>フリートークを振り返ってみるよ。</li> <li>夢やその理由がみんな違って楽しいね。</li> </ul> C E君が Me,too.と言って共感してくれたよ。 B C君はお仕事でいろいろな場所に行けるね。いろいろな場所に行ける仕事もいいな。	
・今後の課題	C もっとお互いのことを知りたいから英語で「おたずね」を増やしたいな。【自】 ・そうだね。「おたずね」をこれから増やそう。	

(3) 板書計画

The board plan is titled "Let's talk about my dream!" and is dated 11/2 (Fri). It includes a "Small Talk" section with a dialogue between A and B. The main activity is "Where do you want to be?" with a focus on "I want to be potter" and "What do you want to go to Kyoto". The board is divided into several sections:

- Dialogue:** A: Hi/Hello. How are you? B: I'm ( ). And you? A: I'm ( ). (too.)
- Activity 1:** Where do you want to be? I want to be potter. (Note: 入れかえて「夢」にかいたずねる。答えたりしてみよう!)
- Activity 2:** What do you want to go to? Kyoto. (Note: do you want, I want)
- Group Work:**
  - ① グループフリートーク
  - ② ふり返り (フリートークに生かす)
  - ③ 全員でフリートーク
  - ④ ふり返り (次のフリートークに生かす)
- Reflection/Notes:**
  - グループフリートーク: 目を見ながら話せた、リアクションできた、うなずく、言葉がたずねられた、上手に答えられた → 答えられるようになった。
  - 分らない時に One more time, please.
  - Can. like 以外も理由を言える want 使って使えそう! へしたいから 次のフリートークに出そう
  - One more time, please. What を使ったずねられた。can. like を使って答えた。友だちの意見いいよ...